

劇作家協会公開講座 2013年夏

次代を担う劇作家のための戯曲創作指導講座 公開講座
戯曲セミナー特別講座

WORKSHOP

8月3日(土) 劇場でワークショップを

▶14:00-17:00

「ことばから、ことばと身体を生み出す」講師=長谷基弘

ことばを起点に、グループで1つの場面を創作していきます。その過程を通し、劇が生み出されていくプロセスを体感し、ことばと身体の間を掘り下げます。

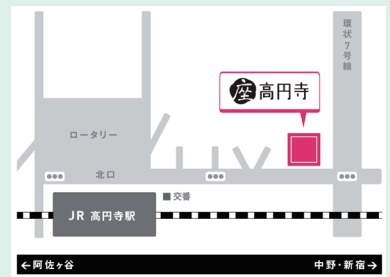
▶定員=10名▶見学のみのご参加はお断りします▶激しい運動ではありませんが、身体を動かします。身体的ハンディキャップがある場合は事前にご相談ください

▶18:00-20:00

「舞台を体験するワークショップ」講師=中屋敷法仁

戯曲の世界は、劇場という場所で初めて演劇というカタチとなります。劇場空間の可能性を体験しながら、創作のヒントを探っていきます。

出演=深谷由梨香(柿喰う客) ▶定員=100名



座・高円寺2

JR 中央線 高円寺駅 北口 徒歩 5 分
杉並区高円寺北 2-1-2
03-3223-7500

お問合せ▶▶

一般社団法人 日本劇作家協会 事務局

TEL 03-5373-6923
MAIL sec-02@jpwa.jp
http://www.jpwa.org

DRAMA READING

8月4日(日)

劇作家協会新人戯曲賞 ドラマリーディング

劇作家協会新人戯曲賞は今年で19回目を迎えます。昨年の受賞作と12年前の佳作をドラマリーディングで紹介。いずれも審査に於いて、“新しい感覚”“今の空気感”との評を得た戯曲です。時代によって変わる“今”と、時を経ても変わらない“今”が感じられる、約10年を隔てた作品の連続リーディングです。審査員経験者たちによる、戯曲審査を巡るトークイベントも開催。

▶16:30-18:00

『沙羅、すべり』(2001年度佳作)

「彼らはそうでなければならなかった」ことを、作者の想像力のエネルギーが感じさせる。

第7回新人戯曲賞選評より抜粋構成——坂手洋二

作=芳崎洋子 演出=坂手洋二・芳崎洋子

出演=円城寺あや/竹下景子/辰巳琢郎/菜月チヨビ(劇団鹿殺し)
松永玲子(ナイロン100°C)/森下亮(クロムモリブデン)
山村涼子(デス電所)

▶18:30-19:30

『見上げる魚と目が合うか?』(2012年度受賞作)

ここに表されているのは、3.11以降により切迫したものとなった現代の普遍的な煩悶である。

第18回新人戯曲賞選評より抜粋構成——マキノノゾミ

作=原田ゆう 演出=マキノノゾミ

出演=占部房子 岡森諦(扉座) 三鴨絵里子(ラップ屋)

▶19:45-21:00

トークイベント「劇作家が戯曲を審査する」

出演=鴻上尚史 小松幹生 坂手洋二 マキノノゾミ

聞き手=樋口ミユ

出演者はすべて50音順記載

劇作家協会新人戯曲賞の特色は、公開で最終審査を行なうことと、審査員全員が劇作家であること。他の戯曲賞に先駆けて公開制を持ち込み、今は応募者の投票で審査員を決めている。なぜ公開で？審査員を引き受けたときの思いは？賞と審査についてどう考えているのか？ここで存分に語り合う。

料金

日時指定/当日精算 全席自由
杉並区民・劇作家協会会員割引あり

8月3日(土)

	14:00- ことばから、ことばと 身体を生み出す	18:00- 舞台を体験する ワークショップ	通し
一般	¥2,000	¥1,000	¥2,800
会員・区民	¥1,800	¥900	¥2,500

8月4日(日)

ドラマリーディングにご来場の方は、トークは無料になります

	16:30- 沙羅、すべり	18:30- 見上げる魚と 目が合うか?	19:45- トーク	通し
一般	¥1,000	¥1,000	¥500	¥2,000
会員・区民	¥900	¥900		¥1,800

ご予約

オンライン予約 <http://www.jpwa.org/>
メール予約 sec-02@jpwa.jp

予約フォームをご利用になれない場合は、件名を「公開講座予約」とし、「お名前、フリガナ、電話番号、希望プログラム名、枚数」をご明記のうえメールでお申込みください。会員・杉並区民の方はその旨お書き添えください。

- ▶両日ともご来場順に場内にご案内申し上げます
- ▶各プログラムは入替制を予定しております
- ▶当日券の状況につきましてはWebサイトでお知らせ致します

詳細は劇作家協会 Web サイトで

<http://www.jpwa.org/>